

平成26年度 羽沢小学校「豊かな心の育成」推進プラン

中期学校経営方針「豊かな心」達成目標

学校・保護者・地域が協働して子どもの体験的な学びを進めることで、子どもの自尊感情・自己効力感を育てています

児童の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

素直で純朴な児童が多い。課せられたことを達成しようと一心に取り組む姿勢を見せる。しかし、生活経験の不足からくる自信のなさ等により、多くの人と心を開いて関わろうとする姿勢が不十分である。理解していても行動する勇気がもてないことが多い。

「豊かな心の育成」に関する指導の目標・方針

- ・体験的な学びを重視し、自らの経験をもとに考え、行動しようとする力を育てる
- ・道徳教育、読書活動等を充実させ、想像力、思いやりの心、協働・協創する力を育てる
- ・家庭・地域と協働して、人とのかかわりを大事にした教育活動を展開する



指針1 道徳教育の指導の充実

- 家庭と協働して行う道徳教育
- ・各学級年1回は道徳の授業参観を行い、保護者と協働して道徳教育を充実 【視点1】

指針2 体験活動の充実

- 多様な体験活動の実施とキャリア教育との関連
- ・キャベツづくり、老人福祉施設・特別支援学校等との交流、外部団体の方を招いての出前授業、防災訓練への参加等、様々な体験の充実と、子どもの実感をもとにした学習活動の展開【視点4】

指針3 確かな人権感覚・意識の育成

- 子どもの社会的スキル横浜プログラムの意図的計画的な実施
- ・横浜プログラムの系統だてた実施によるコミュニケーション能力・自己指導力の育成
- ・Y-P アセスメントを活用した支援検討会による教師の成長
- ・だれもが安心して授業をうけることができる授業づくりの推進 【視点7】

指針4 豊かな感性や情操の育成

- 読書に親しむ機会の充実によって読書の楽しさを味わう
- ・毎週木曜日の朝読書、読書マラソンカード、保護者ボランティア「ふわふわスマイル」の読み聞かせ、地域ボランティア「おはなしくレヨン」による素語りやブックトーク、パネルシアター等の実施 【視点11】